

平成 27年3月 12日 00212号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【武道館情報】道東地方を度重なる降雪が襲う！！

3月1日(日)付けの北海道新聞一面にも掲載されましたが、昨年末から2月末日まで計10個もの爆弾低気圧が北海道に接近し過去最多となり、毎週末大雪に見舞われております。2月24日(火)武道館職員が出勤した時点で北見市武道館あづち側屋根に溜まっていた昨年末からの雪が殆ど落ちているのを確認しました。同日夜、武道館総務他2名の計3名にて矢取道屋根の雪下ろしを行った後、設備維持責任者が翌朝7時半頃までの約10時間かけて除雪を行った矢先に、3月4日(水)には今シーズン11個目となる爆弾低気圧が接近し屋根には約40センチもの積雪となりました。再度夜間にかけて除雪を行い、芝面・屋根ともに殆どなくなりました。しかし、安堵できたのは一時の休息に過ぎませんでした。

2月24日正午頃



3月10日正午頃：大雨から牡丹雪に変化



3月6日(金)から徐々に暖かくなり、北見市でも最高気温7℃前後・最低気温もプラスになるなど春の訪れを感じさせる陽気でしたが、週明けの10日には、朝から小雨がチラつきはじめ午後には本降り、その後夕方からは大粒の牡丹雪になるなど、3月は特に目まぐるしく天候が変化しています。全国的に悪天候が続いておりますので事故や怪我にはくれぐれもお気をつけください。

3月6日(金)から徐々に暖かくなり、北見市でも最高気温7℃前後・最低気温もプラスになるなど春の訪れを感じさせる陽気でしたが、週明けの10日には、朝から小雨がチラつきはじめ午後には本降り、その後夕方からは大粒の牡丹雪になるなど、3月は特に目まぐるしく天候が変化しています。全国的に悪天候が続いておりますので事故や怪我にはくれぐれもお気をつけください。

連載 「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

一、指導上の根本問題

○熱意

先ず第一に私は指導に、熱心^{ねっしん}ということを要求したい。指導者の熱心^{ねっしん}の程度が高ければ高い程後進者の修行を力あらしめる。若し、後進者が非常な熱心^{しゅぎょう}を以て修行しているにも拘らず、その指導者の熱心^{ねっしん}が缺けているとしたら、いつの間にか、その修行者の熱心^{ねっしん}は冷却して仕舞って遂には修行を止めてしまう事にもなる。之に反して、指導者が火の如き熱心^{ねっしん}さを以て指導すれば、指導者の熱心^{ねっしん}が足りない場合にも、修行者も亦、いつか熱心^{ねっしん}になり、熱心^{ねっしん}になった結果、そこに異常の興味^{きょうみ}が湧き、ひいては心身の修養が目に見えて出来て来るので、修行者自らもいよいよその向上^{きょうみ}に興味^{きょうみ}と自信を持ち、更にその熱心^{ねっしん}の度を高めて来る。故に先ず第一にこの熱心^{ねっしん}という事を挙げるのである。尤もいくら指導者が熱心^{ねっしん}であっても、修行者の熱心^{ねっしん}がこれに伴わない場合^{ばあい}もある。だが、かかる時、とてもこの修行者^{しゅぎょうしや}は駄目だ断念して仕舞ってはならない。私はそんな場合にはこれはまだ自分の熱心^{ねっしん}がたりぬからだ、更に一層の熱意^{ねっしん}を以てこれが指導にあたる。かくすれば、大抵、己の熱誠^{ねっせい}が修行者^{しゅぎょうしや}に通づるものである。つづく